

1 月 13 日：不動産株が振るわず、VN 指数は反落

悪材料は出尽くしとはいかず、不動産銘柄はこの日も軟調で、ホーチミン、ハノイ両市場の株価指数は下落した。

前日に少し上昇したホーチミン市場の VN 指数はこの日 0.96% 安の 1,496.05 ポイントで取引を終えた。同指数は直近 5 日間の取引のうち 4 日間下落していた。

ハノイ市場の HNX 指数は 4 日続落となり、2.71% 安の 460.83 ポイントで取引を終えた。同指数は今週 7% 近く下げている。

出来高は大きく減少し、売買高は 11 億株超、売買代金は 34 兆 4,000 億ドン（15 億米ドル）となった。売買高、売買代金はともに 15% 減少した。

不動産株はこの日も大きく売られた。

直近買われすぎていた銘柄に買い手はなく、不動産銘柄はストップ安をつけた。値下がり銘柄には NBB 不動産（NBB）、ホーチミン市インフラ建設（CII）、タンタオ不動産（ITA）、TTC ランド（SCR）、ダットサイングループ（DXG）、DIC 不動産（DIG）、IDJ ベトナム投資（IDJ）、ベトナム工業団地都市開発（IDC）、第 14 リコジ建設（L14）が含まれた。

今回の不動産セクターの急落は、不動産開発会社のタンホアンミンググループによって引き起こされた。同社はホーチミン市のトゥーティエム新都市区の土地を 24 兆 5000 億ドン（10 億 8000 万米ドル）という高額で落札することに成功したが、その購入を取り消ししたことが報じられていた。

また FLC グループ銘柄も値動きが弱く、FLC グループ（FLC）、FLC ファロス建設（ROS）、FLC（AMD）、（HAI）、（KLF）も数日間ストップ安をつけている。FLC ファロス建設は 4 日続落し、16,000 ドンから 14,000 ドンに下落した。

ホーチミン取引所は今月 10 日に行われた FLC グループ（7,480 万株）の売却取引を取り消すことを決めた。この売却取引は FLC グループ会長の Trinh Van Quyet 氏によって情報公開なく行われていた。。

FLC グループは一株 21,000～24,000 ドンの株価で売却され、売却代金はおよそ 1 兆 6,000 億～1 兆 8,000 億ドンに上った。

「数日間ストップ安が続いているが、不動産銘柄の多くは未だに割高である」（ベトナム建設証券の副社長、Do Bao Ngoc 氏）

「投資家は行き過ぎた期待に気づき、利益確定売りは着実に増えている。もし新たな買い材料がなければ、投機的な不動産銘柄はさらに売られる可能性がある」（同氏）

「今後、投資家資金は良好な第 4 四半期の決算発表が期待される銀行、情報技術、不動産銘柄にシフトする可能性があるだろう」（同氏）

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。